

**大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援
事後評価結果**

研究開発課題名:	世界最小口径の異種脱細胞化血管の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	国立循環器病研究センター 研究所 部長 山岡 哲二

1. 本事業での活動目的

現在、臨床的意義を有する人工血管は内径が6mm 程度以上の太い血管に限られる。糖尿病等による下肢動脈の狭窄や閉塞に適応するには内径3mm 以下の小口径血管が必要となるが、患者自身の血管を犠牲にするしかなく、それが叶わない場合には下肢切断を余儀なくされる。この課題に対して、独自に開発した血管内膜再生技術に基づいて開発した、ダチョウ頸動脈由来の異種脱細胞化人工血管を臨床の場に投じる。この血管は、世界初の実用化可能サイズ(直径2-3mm)の小口径血管であり、形成外科、血管外科等を保有する病院・クリニックへ提供するべく、事業化と臨床化のための顧客ヒアリングを通して、本ビジネスモデルの構築・検証を行う。

2. 総合所見

糖尿病患者における下肢切断回避という明確なニーズと、着実な技術検証結果に基づきヒアリングを進め、下肢救済以外にも血管再建技術を応用できる可能性を見出した点を評価する。事業継続性のあるビジネスモデル構築に必要な課題を明確化した上で、新たな起業支援プログラムにも採択されており、今後の進展に期待する。

以上